

～ ご参加の皆様へ お願い ～

- ・集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は1列または2列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分に気を付けてください。
- ・急坂、石段などがありますので、足元にご注意ください。
- ・果樹や野菜、植物などを採取しないでください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないようにお願いします。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください。



私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまに紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。

美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることをうれしく思っています。

今後とも よろしく願いいたします。

※ 中面のイラストは「秋川昔物語 — 秋川市ところどころ —」
秋川市(現・あきる野市)教育委員会 1989年 発行 より

感染拡大を防ぐためマスク着用や三密を避けるなど新型コロナ対策へのご協力をお願いします！

《 担当解説員：D班 》 杉山美枝・住友恒正・高橋清樹

市民解説員が案内する市内探訪

民話を聞きながら湧水を訪ねて

～ 野辺・小川 ～



【コース】

東秋留駅 → 二宮神社・お池 → 前田耕地遺跡 → 法林寺
→ 熊野神社 → 八雲神社 → 新開院 → 東秋留駅

令和3年4月8日(木)
あきる野市 中央公民館

① 二宮神社

※二宮 2252 番地

御祭神：国常立尊（クニトコタチノミコト）

創建：不詳

沿革：中世には小川大明神、二宮大明神と称されていた。二宮大明神は武蔵総社六所宮の第二席にあたるため明治3（1870）年、社号を二宮神社と改称し、昭和17（1942）年郷社に列格。

・宮殿は高さ1.9mの小さな建造物で室町時代後期以前のもの。本殿裏より金銅製薬師如来像（室町時代推定）が出土し、二宮考古館に展示されている。※境内で縄文時代以降の遺物が数多く出土している。

境内社：五社、諏訪神社、荒波々伎（アラハバキ）神社、社宮社※おしゃもじ様
都指定旧跡：二宮神社並びに城跡

市指定有形文化財：本殿、宮殿

市指定有形民俗文化財：算額絵馬

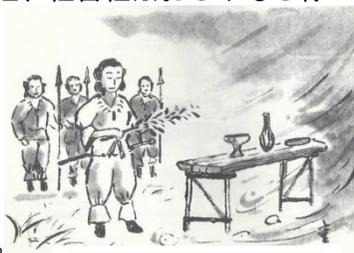
市指定天然記念物：フジ・ヤナギ ※“お池”のそば
祭礼：しょうが祭（9月9日）

神事：筒粥の神事（1月15日）など

御手洗池：東京の名湧水57選、涸れない池で有名。



《民話① 松の葉で目を突いた神様》



《民話② 涸れない池》

② 前田耕地遺跡

（出土品＝国指定重要文化財、遺跡＝都指定史跡）※野辺 1-1 ほか

- ・縄文草創期（約15,500年前）～弥生～古墳～中世各時代の遺物が出土。
- ・住居跡からサケの歯・骨が約7,200点出土し、漁撈活動の事実が判明。
- ・公園として整備された一角には縄文後期（約4,000年前）の住居跡が移設復元され、地下には縄文、弥生時代の住居跡が保存されている。

○藍染川（あいぞめがわ）→舞知川（もうちがわ）

③ 法林寺

臨済宗 南禅寺派 神應山 法林寺

※小川東 2-12-10

本尊：聖観世音菩薩

創建：現存する木札によると延喜12（912）年

開基：安成院満慶

沿革：室町時代（応永年間1394～1427）法光円融禅師（峻翁令山）が再興。中興開基は片倉城主長井道広。徳川家光より御朱印25石を賜る。延宝年間（1673～1681）火災により古来の記録が焼失。

市指定天然記念物：シラカシ

※山門脇のお堂には痴病菩薩が祀られ、かつては痴病除災祈願の参拜者が8月1日の祭礼に列をなしたと伝えられている。「無漏西遊」より



《民話③ ばっぼっ田》



《民話④ 竜が授けた水》

④ 熊野神社

俗社号：おくまんさま ※小川 639 番地

御祭神：伊邪那美神（イザナミノカミ）

速玉之男命（ハヤタマノオノミコト）

事解之男神（コトサカノオノカミ）

創建：不詳

沿革：棟札に宝永5（1708）年社殿修復、寛政6（1794）

年社殿再建の記録あり。紀州熊野三社を勧請したので昔は熊野三社大権現と称した。

明治2（1869）年社名を熊野神社に改めた。明治6（1873）年村社となる。

市指定天然記念物：ケヤキ（御神木）

境内社：八雲神社



⑤ 八雲神社

俗社号：おてんのうさま ※野辺 316 番地

御祭神：素戔嗚尊（スサノオノミコト）

創建：長禄年間（1457～1460）

沿革：祇園の牛頭天王を勧請し明治維新の際に八雲神社と改称、御祭神も牛頭天王から素戔嗚尊に改めた。明治6（1873）年村社となる。昭和49（1974）年火災で全焼。

境内社：日枝神社、御嶽神社、江の島弁財天

祭礼：現在は、7月25日に近い日曜日に行っている。

市指定有形文化財：五輪塔（1群）※伊奈石製、「応永七（1400）年10月9日」「浄林禅門」の文字が刻まれ、室町時代の様式を備えている。

市指定無形民俗文化財：野辺はやし神楽

その他：敷地内に「東京の名湧水57選」に選ばれた池あり。



⑥ 新開院

臨済宗 建長寺派 寿域山 新開院 ※野辺 435 番地

本尊：大日如来

創建：室町時代の長禄元（1457）年。『新編武蔵風土記稿』には「新開寺」として普門寺の塔中（たっちゅう）と記している。

開山：普門寺八世の菊穂英禅師。

※開基は不明、準開基は北条氏康で除地寄付があったと伝えられている。

沿革：創建当時は、茅屋の小院であったが、明治期、普門寺二十六世灌溪和尚によって再建され現在に至っている。

○薬師堂

※右写真は飛地境外にある薬師堂→

本尊は明治初年神仏分離の際、鎌倉の鶴岡八幡宮から遷座された薬師如来、日光・月光菩薩、及び十二神将を安置している。この薬師三尊には像銘が、日光・月光菩薩立像の台座裏に元和5（1619）年7月13日伊藤政世が施主となり再興した旨、墨書きされている。

